

手作りカードで お年寄り笑顔に



福山の駅家小全児童

日頃の感謝の気持ちを込めてメッセージカードを仕上げる6年生の有志

1460人にメッセージや花の絵

福山市駅家町の駅家小の全校児童が、地域のお年寄りに日頃の感謝の気持ちを伝えるメッセージカードを手作りした。地域の団体を通じ、敬老の日（9月16日）に合わせて贈られる。

カードは、はがきサイズ。「いつも見守ってくれてありがとう」「長生きしてください」。1、6年の775人が表面にメッセージを書き、裏面

には柔和な表情のお年寄りや花の絵を描いた。折り紙で作ったバラを貼ったカードもある。

6年生の有志8人が中心となり、誤字や脱字の確認などをして77歳以上の約1460人分を仕上げた。実行委に預け、敬老の日に合わせて対象者に郵送する。

有志の一人、谷中瀬果さん（11）は「感謝の気持ちを込めて作った。受け取ったおじいちゃん、おばあちゃんに喜んでもらえたらうれしい」と話している。

（浜村満大）



駅家小の児童が地元のお年寄りに向けて作ったメッセージカード

びんごメール



三原支局
川崎崇史

梅雨明けと同じ日に幕を開けた、暑い中での選挙戦だった。現職と新人の計3人が立ち、先月28日に投票された三原市長選。地域や経済の活性化に向け、各候補はそれぞれの政策を訴えていた。ところが、投票率は戦後ワースト2位となる41・1%にとどまった。

投票率が低下傾向にある中、外出がためらわれる猛暑が低迷の一因だったと市選管はみる。

地域振興へ選挙に関心を

新型コ
回選が
ちつく
を取材
ならな
新幹
瀬戸内
川崎
の町並
踊り
十分に
欠いて
市民
欠かせ
地元の
ほしい
伴う市